

2 石田裕一隊員住居

[所在地] タマレ市

[実施日] 2007. 07. 02 13:00～13:45

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、自宅周辺での路上強盗

[評価]・・・Cに近いB(但し、人家がまばらなので、狙われない工夫が大切)

(1) 住居環境

- ① 隊員は、フィールド調整員事務所から、北に伸びる国道を更に約2 km北方に進んだ地点から西側に約250m 入ったところにある閑静な住宅地の一角にあるノーリップビレッジ(60 棟ほどあり公務員が多く居住している)の一戸建て家屋に居住している。
- ② 隊員宅の裏側は陸軍の駐屯地であり、家屋から約15m 離れたところにガーナの居宅がある。周辺一帯は犯罪が少ない地域と言われている。

(2) 家屋の概要

- ① 敷地の周囲には塀はなく、自由に家屋に接近できる。家屋は木造トタン葺き平屋で、玄関、裏口の扉は大型の南京錠2 個付きの鉄板扉であるが、窓は太さ3 mmの鉄網格子でありペンチで切断し、ルーバーガラスを外して屋内に侵入することが可能である。
- ② 玄関の扉は、外側が防虫用の網戸で、その内側にシリンダー錠2 個付きの鉄板扉で、内側に門錠を取り付けている。
- ③ 玄関を入ると居間で、居間に裏口があり、扉はシリンダー錠2 個と門錠付きの鉄板扉で、外側に防虫用網戸を取り付けている。室内にルーバー窓が6 箇所あり、いずれも外側に太さ3 mmの鉄網格子を取り付けているが、細いためペンチで切断できる。
- ④ 居間の奥に台所があり、居間との仕切り壁はあるが出入口扉はない。窓が1 箇所あり、外側が太さ3 mmの鉄網格子でありペンチで切断できる。
- ⑤ 居間の左側(玄関から見て)に廊下が横に伸びており、左側に2 室あり奥の部屋を寝室として使用している。廊下の右側にはバス・トイレ室と1 室がある。各室の出入口の扉は棒錠付きの合板扉であり、寝室の扉の鍵は壊れている。窓は寝室とその反対側の部屋には2 箇所、他の1 室とバス・トイレ室には1 箇所あり、いずれも外側に太さ3 mmの鉄網格子を取り付けている。
- ⑥ 居間と寝室に使用不能のクーラーを取り付けているが、クーラーを外側から外して屋内に侵入することができる。

(3) 通信手段

無線を設置しており、通信状態は良好である。携帯電話を常時所持している。

(4) 通勤手段

バイクを使用しており、勤務先へは 10 km 程あり、交通量の激しい国道を避けて通勤している。

(5) 改善点

寝室の防備を重点に以下の改善を要する。

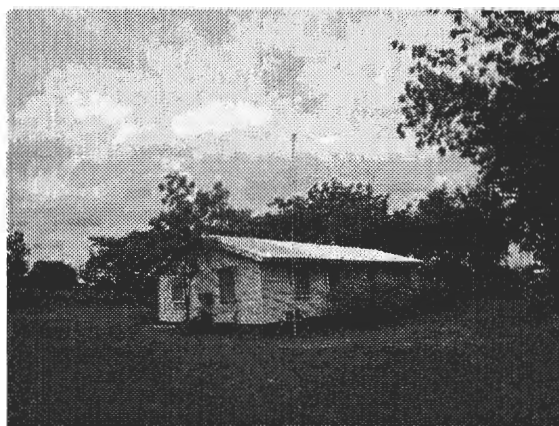
- ① 寝室の 2 箇所の窓に内側から太さ 18 mm の鉄格子を取り付ける。
- ② 寝室出入口の機能していない棒鍵錠をシリンダー錠に取り替え、内側に門棒錠を取り付ける。
- ③ 貴重品は寝室内に保管する。
- ④ バイクを使用しており、極力車両や人混みの多い幹線道を避けて通勤しているが、裏道でも交通量が多いので、安全運転に努めるとともに勤務先および自宅でのバイクの管理を徹底し盗難防止に努める。

【石田隊員住居写真】



隊員宅周辺

右の白い家屋が隊員の住居



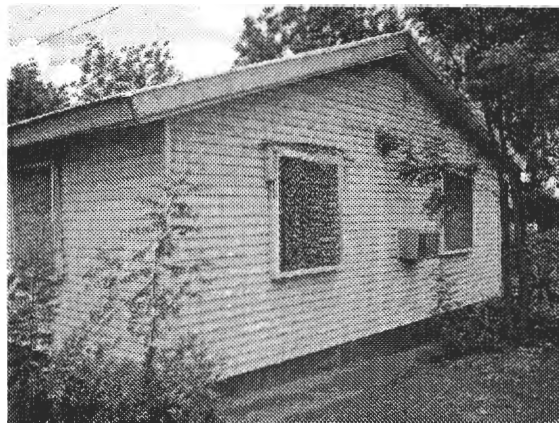
隊員宅全景(玄関側)

ポールは無線用アンテナ
ポール側が寝室、右奥側が居間



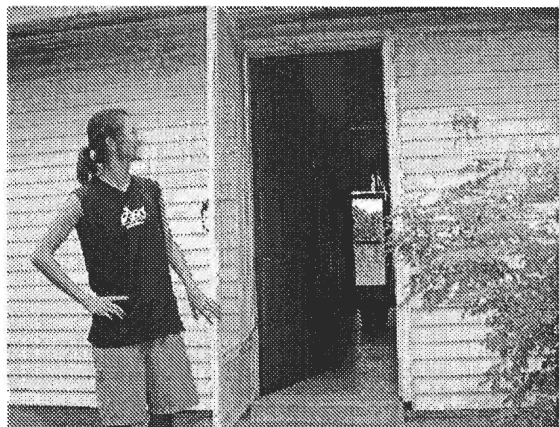
裏側

隊員は裏口から出入りしている。



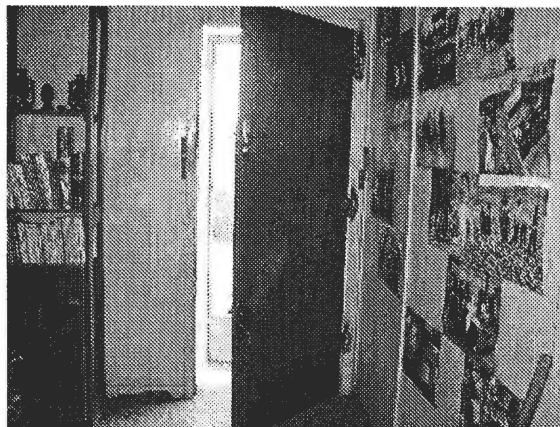
寝室側の側面

窓はルーバー窓で太さ 3 mm の鉄網格子付きであるがペンチで切断できる。



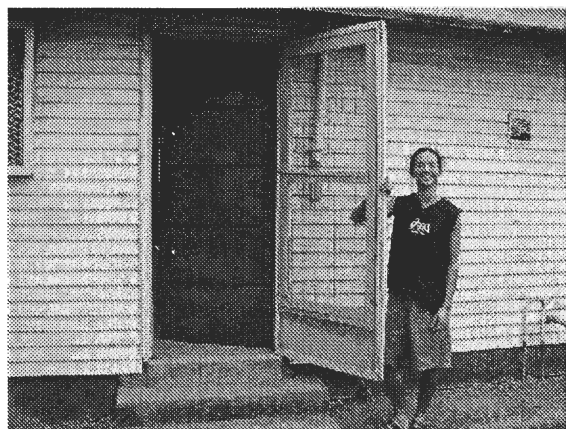
玄関扉

外側防虫用網戸、内側シリンダー錠
2 個付き鉄板扉



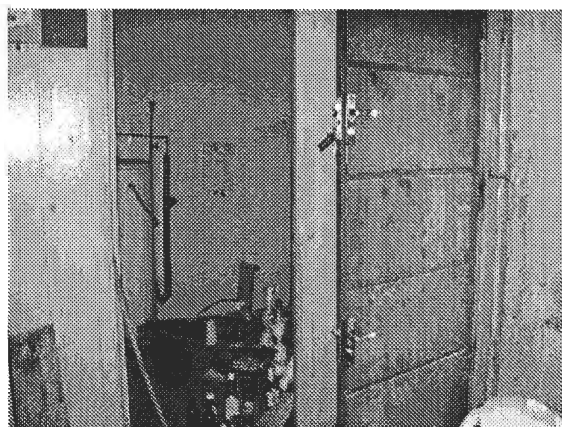
玄関扉内側

上部と下部にシリンダー錠を取り付け
ている。



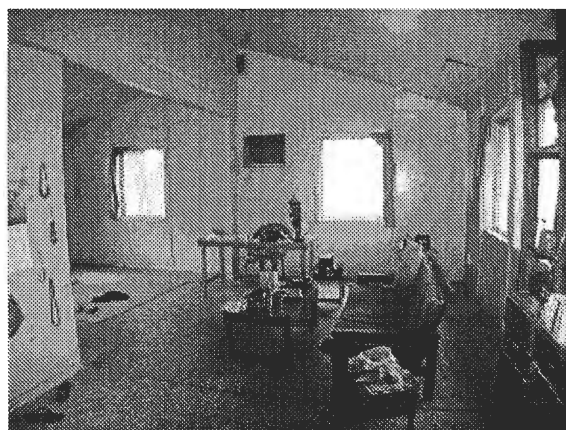
裏口扉(現在出入口として使用)

外側防虫用網戸、内側シリンダー錠
2 付き鉄板扉



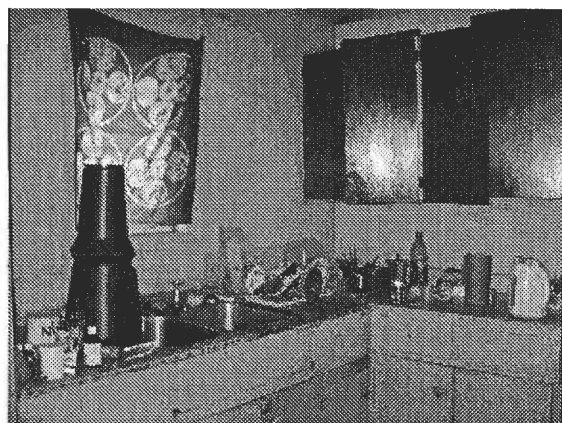
裏口扉の内側

上部と下部にシリンダー錠を取り付け
ている。



居間

窓が 6 箇所あり、いずれも太さ 3 mm
の鉄網格子付きルーバー窓

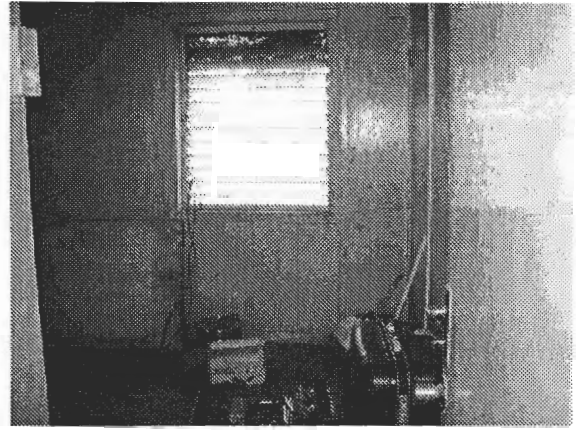


台所



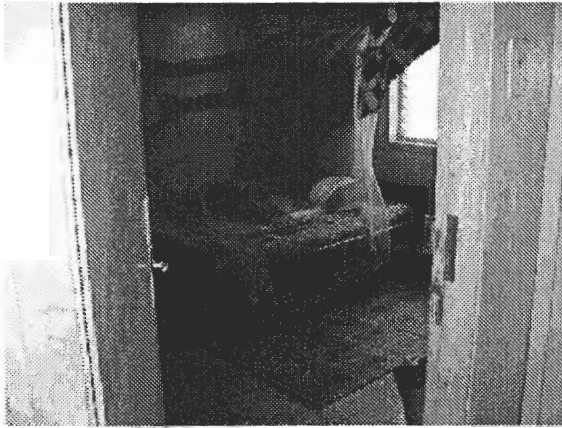
廊下

左側に倉庫室と寝室、右側にバス・トイレ室と予備寝室がある。



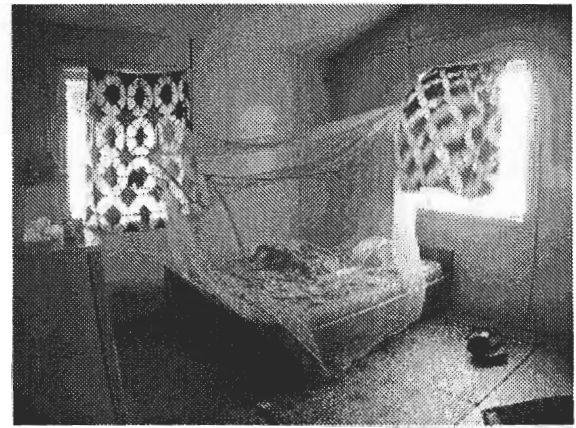
倉庫室

出入口扉は棒鍵錠付き合板扉、窓は太さ3mmの鉄網格子付きルーバー窓



寝室

扉は棒鍵錠付き合板扉であるが、鍵が壊れている。



同寝室

窓はいずれも太さ3mmの鉄網格子付きルーバー窓



予備寝室

窓は太さ3mmの鉄網格子付きルーバー窓



バス・トイレ室

窓は太さ3mmの鉄網格子付きルーバー窓

3 横倉忠通隊員宅

[所在地] タマレ市オードエアポート通り 26 番地

[実施日] 2007. 07. 02 15:00～15:30

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、自宅周辺での路上強盗

[評 価]・・・Aに近いB(但し、人家がまばらで、裏側が畑や林なので狙われやすいので、狙われない工夫と行動が大切である。)

(1) 住居環境等

- ① 隊員宅は、タマレ市中心部から西方約 6 km 郊外の閑静な住宅地の一角にあり、周辺一帯には民家が点在している。家屋前約 30m のところに勤務先校の校長宅がある。家屋裏側は畑でその奥は林となっている。
- ② 隊員は、4 月 28 日～5 月 7 日の間首都に上京していた際に、自宅の屋根に穴を開け天井を壊して侵入され、寝室内に置いていた現金、小切手帳、パソコン等を盗まれる空き巣被害に遭っている。

(2) 家屋の概要

- ① 敷地周囲には塀はなく(校長宅をはじめ周辺一帯の民家にも塀はない。)、家屋周囲には木々が生い茂っている。
- ② 家屋はブロック造りトタン葺平屋である。空き巣被害当時の屋根はスレート瓦で古く壊しやすい状態であったが、現在は屋根をトタン葺に改修している。
- ③ 間取りは縦コの字型になっており、建物に向かって左側部分が台所、中央部分が向かって左側が居間、右側が寝室で、右側部分はトイレとシャワー室となっている。
- ④ 台所部分の出入口扉はシリンダー錠付きの板扉で、両脇に板のルーバー窓があり、外側に金網を取り付けている。室内に窓は無い。
- ⑤ 中央部分の居間と寝室の出入口の扉は、外側が南京錠付きの太さ 18 mm の鉄格子扉、内側がシリンダー錠付きの板扉で、鉄格子扉と板扉の間に防虫用網戸を取り付けている。
窓は、それぞれ出入口側と室内奥に押し出し式の板窓が各 1 箇所あるが、奥の窓は外側に太さ 18 mm の鉄格子を取り付けたために押し出して開けることが出来ない。出入口側の小窓は、外側に南京錠付きの太さ 18 mm の押し出し式の鉄格子を取り付けており開閉することが出来る。
- ⑥ 右側部分のトイレ、シャワー室の出入口扉は、それぞれ棒錠付きの板扉で室内に窓は無い。

(3) 通信手段

無線を設置しており通信状態は良好である。携帯電話を常時所持している。

(4) 通勤手段

通勤は自転車を使用しており、途中危険な場所はない。

(5) 改善点

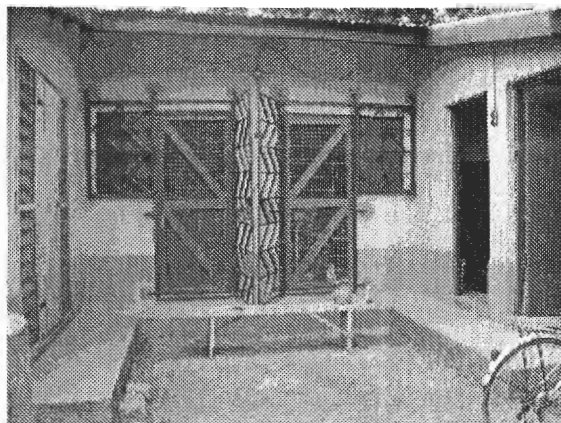
- ① 空き巣被害後改善され、玄関等の出入口には太さ 18 mm の鉄格子扉、窓には太さ 18 mm の鉄格子を取り付けている。
窓は押し出し式の板窓であったが、鉄格子を外側に取り付けたため(内側に取り付けるのが望ましかった。)室内が暗く不衛生となりがちである。
玄関及び玄関脇の小窓を活用し日光を入れることに配慮する。
- ② トイレ、シャワー室が外付けである。使用時は居間兼寝室に必ず施錠し、夜間の使用には十分注意し、携帯アラームを携行することが望ましい。
- ③ 非常時を考慮し、寝室から通信出来るように無線は寝室内に移設することが望ましい。
- ④ 人家がまばらで裏が畑や林なので、狙われない工夫と行動に配慮する。

【横倉隊員住居写真】



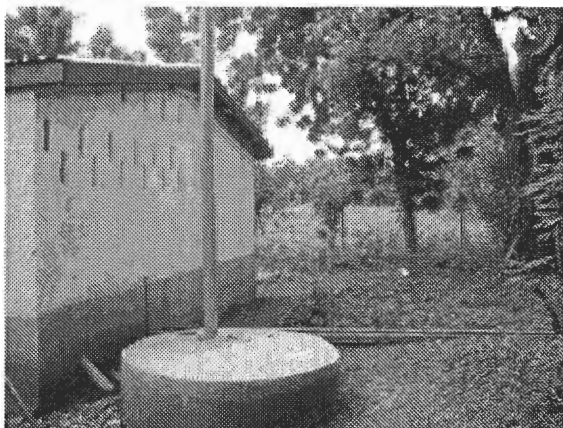
隊員宅全景

ポールは無線用アンテナ



家屋正面

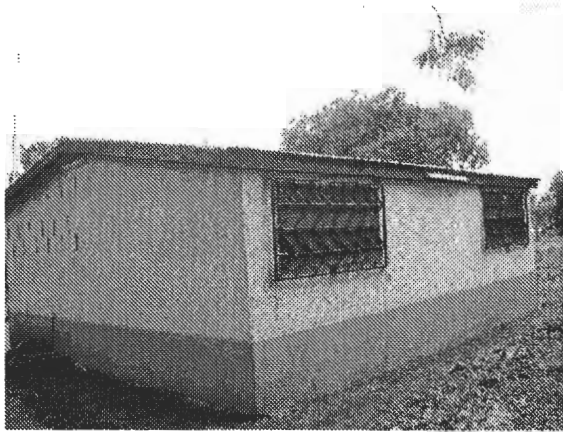
左側台所、中央居間・寝室、右側トイレ、シャワー室



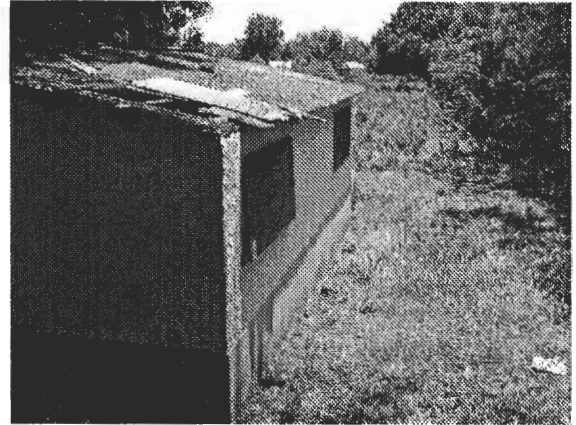
寝室側の側面



裏側



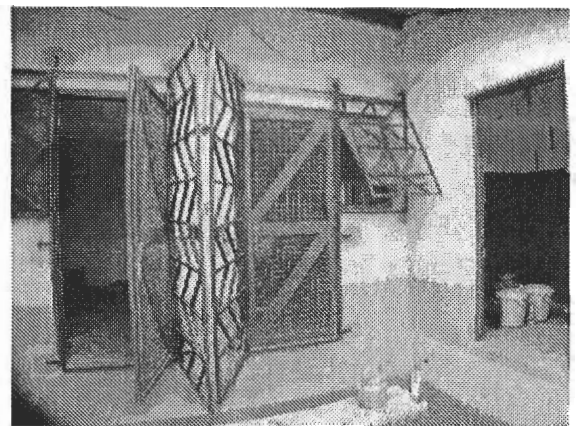
屋根と居間、寝室(手前)の裏側窓
窓の外側に鉄格子設置したために押し
出し式板窓は開閉出来ない。



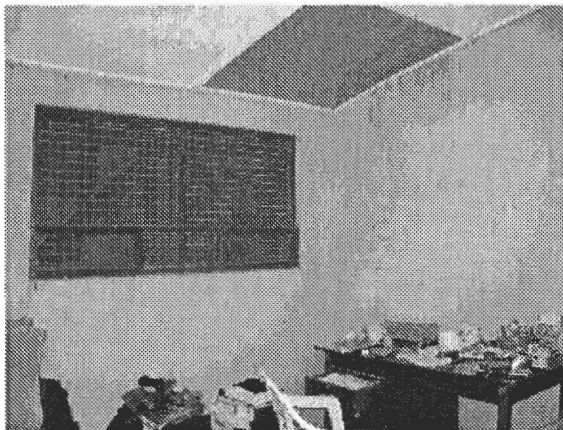
被害時の屋根と窓
寝室のスレート瓦屋根に穴を開けて
侵入している。



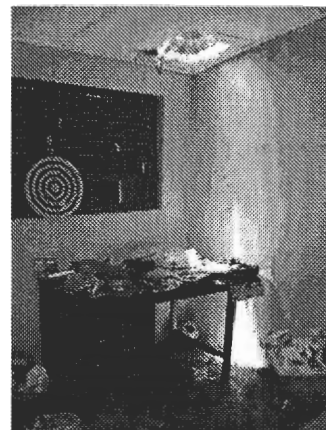
台所の出入口扉と窓
扉はシリンダー錠付きの板扉、窓はル
ーバー板窓



居間(左)・寝室(右)の扉と窓
外側に鉄格子扉を取り付けている。
押し出し式で板窓は開閉できる。



寝室
窓は開閉出来ない。天井の茶色部分は穴
を開けて侵入された部分を補修している。



被害時の寝室天井
天井に穴を開けて侵入している。